

OSC2012 広島セミナー: OSS 翻訳入門 (Doc-ja Archive Project)

45 分ではたいしたことが話せないで、本当に「さわり」だけです。関心がある方はブースまで。

ドキュメント翻訳の例

10 月 18 日(日本時間では 19 日)、Ubuntu 12.10 Quantal Quetzal がリリースされました。リリースに合わせてリリースノートが出ますが、リリース直前はおろか、リリース後にも原文が変更されるので、18 日深夜に必死で翻訳をしました (そのへんの様子は <http://togetter.com/li/392260> に)。

New Features in Ubuntu

There is no longer a traditional CD-sized image, DVD or alternate image, but rather a single 800MB Ubuntu image that can be used from USB or DVD. Users who previously installed using LVM or full-disk encryption via the alternate CD will find that these installation targets are supported by the consolidated image in 12.10.

With the Ubuntu 12.10, ARM desktop images are now standard Ubuntu live images as known from other architectures. To install these images you should have a USB disk as target device.

Desktop Interface

- Update Manager has been streamlined and renamed Software Updater. It also now checks for updates when launched. Additionally, the release upgrader portion of Update Manager has become its own package - ubuntu-release-upgrader.
- A new **Xorg** stack has been introduced which includes xserver 1.13 candidate versions, mesa 9.0, and updated X libs and drivers. The new xserver provides improved multisession support, better smooth scrolling, and a large variety of bug fixes. There is a new version of the ATI driver, and the proprietary -nvidia driver now supports the RANDR standard for monitor configuration.

Ubuntuの新機能

伝統的なCDサイズのイメージやDVD、Alternateイメージはなくなり、USB/DVDで使用することができる、800MBの統合されたUbuntuイメージのみが提供されます。これまでAlternate CDを用いてインストール時にLVMやディスク全体の暗号化を利用していた場合は、この統合されたイメージで同等の機能を見つけることができます。

Ubuntu 12.10では、ARMデスクトップ用のイメージが他のアーキテクチャ同様に標準的なUbuntu liveイメージになりました。これらのイメージをインストールするには、インストールメディアとしてUSBディスクを使うとよいでしょう。

デスクトップインターフェース

- アップデートマネージャーは最新版となり、「ソフトウェアの更新」に名前が変わりました。起動した時にアップデートの確認を行うようになります。さらに、アップデートマネージャーの一部であったリリースアップグレーダーは、それ自身がubuntu-release-upgraderという名前のパッケージとなりました
- xserver 1.13候補版、mesa 9.0、そして、更新されたXライブラリとドライバーを含む、新しい**Xorg**スタックが取り込まれました。新しいxserverは、改良されたMultisessionサポート、さらにスムーズとなったスクロール、大量のバグフィックスを提供します。新しいバージョンのATIドライバーや、モニター設定でRANDRをサポートしたプロプライエタリなnvidiaドライバーもあります

目次

1. New Features in Ubuntu
 1. Desktop Interface
 2. Desktop Applications
 3. Software Center
 4. Ubuntu One
 5. WebApps
 6. Common Infrastructure
 1. Secure Boot
 2. Migration-support deprecated
 3. Linux kernel 3.5.5
 4. Python 3.2
 5. GNU Toolchain
 6. Java Toolchain
2. Installation
 1. Overview
 2. Download
 3. System Requirements
3. Upgrading
 1. Upgrading from Ubuntu 12.04 LTS
 2. Upgrading from Other Releases

目次

1. Ubuntuの新機能
 1. デスクトップインターフェース
 2. デスクトップアプリケーション
 3. ソフトウェアセンター
 4. Ubuntu One
 5. WebApps
 6. 共通インフラストラクチャ
 1. Secure Boot
 2. Migration-supportの廃止
 3. Linux kernel 3.5.5
 4. Python 3.2
 5. GNUツールチェーン
 6. Javaツールチェーン
2. インストール
 1. 概要
 2. ダウンロード
 3. システム要件
3. アップグレード
 1. Ubuntu 12.04 LTSからのアップグレード

Ubuntu 12.10 リリースノート中の、UbuntuDesktop の説明。

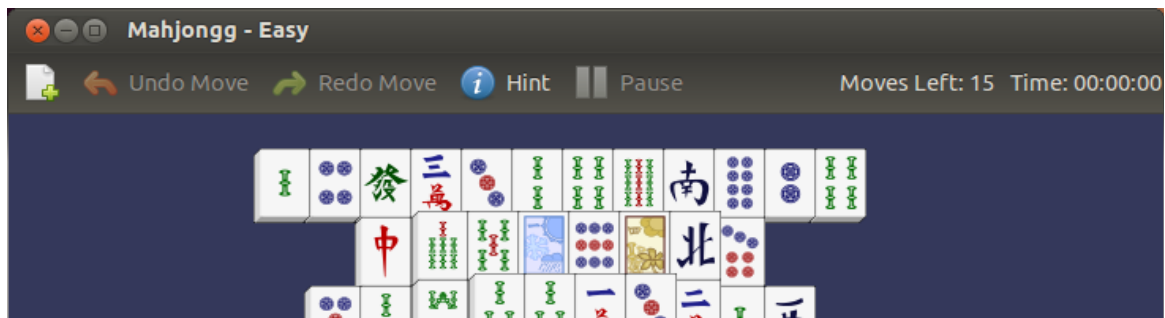
上: 原文 (<https://wiki.ubuntu.com/QuantalQuetzal/ReleaseNotes/UbuntuDesktop>)

下: 日本語訳 (<https://wiki.ubuntu.com/QuantalQuetzal/ReleaseNotes/ja/UbuntuDesktop>)

Ubuntu リリースノートの場合は、ほぼ内容が固まってから翻訳するのですが、通常のマニュアル類などは原文が絶えず更新されているため、「訳を最新に保つ」ための労力が大きくなります。このような労力を軽減できるよう、po4a のような翻訳支援ツールがいくつかあります。

UI (ユーザーインターフェース) 翻訳の例

GNOME 上海 (gnome-mahjongg) のウィンドウの表示を例にとります。GNOME 上海は国際化されており、「英語版」「日本語版」といった区別はありません。同じ GNOME 上海でも、英語環境で起動すれば英語表示に、日本語環境で起動すれば日本語表示になります。(裏に続く)



プログラムソースは以下のようになっています。 (gnome-mahjongg/src/gnome-mahjongg.vala)

```

window = new Gtk.ApplicationWindow (this);
window.title = _("Mahjongg");
(略)
var label = new Gtk.Label (_("Moves Left:"));

```

さらに、以下のような翻訳ファイル (メッセージカタログ; po/ja.po) があります。gettext で国際化されたプログラムでは、このようにプログラムソースと翻訳を分離しています。

```

msgid "Mahjongg"
msgstr "GNOME 上海"

msgid "Moves Left:"
msgstr "取れる牌の組:"

```

翻訳作業はどのようにおこなわれているか

作業方法はプロジェクト毎にさまざまです。

GNOME の場合は、翻訳者が po ファイルを直接編集して、damned-lies という web システムにアップロードしています。

Damned-lies: <http://l10n.gnome.org/>

Ubuntu では Launchpad Translations という web システムを使い、メッセージ単位で web フォームに訳を入力していきます。

Launchpad Translations: <https://translations.launchpad.net/>

GNOME と Ubuntu については、それぞれ Ubuntu Magazine Japan vol.08 と vol.09 に、翻訳に関する記事があります。 (vol.08 は PDF が無料公開されています:

<http://ubuntu.asciimw.jp/elem/000/000/010/10503/>)

そのほか、今日の出版団体では、PostgreSQL は po ファイルを直接編集、OpenStreetMap は translatewiki.net を使っています (JOSM のユーザーインターフェースは Launchpad です)。